

企画展 ^{ちゅう ごく} ^{しっ き} 中国の漆器
Chinese Lacquerware

2021年12月11日(土)～2022年2月23日(水・祝)



多彩な技法によって彩られる中国の漆器の美しさ、珍しさは、何物にも代えがたい魅力を持っています。コレクター達の垂涎の的であり、世界中で競って求められます。

中国の漆器は、日本において古来重宝されました。そのため大切にされ、現在まで伝わっています。製作地である中国では、日本ほど古い漆器は残っておらず、世界的に稀有な存在であり、大変貴重です。

2020年、公益財団法人香雪美術館の前理事長・故村山美知子(1920～2020)より、村山家所蔵のコレクション一括が美術館へ寄贈され、そのなかには、多くの中国の漆器が含まれていました。良好な保存状態でないものもあり、展示に向けて修理等を行ってきました。本展は、初公開の作品を多く含む香雪美術館の所蔵品に、他所で愛蔵されている名品を加えて中国漆器の魅力を紹介する、貴重な機会です。

ちょうしつ I. 彫漆

器物の表面に漆を何度も塗り重ねることで厚みを出し、そこに文様を彫り表わす技法です。最表層が赤色のものを「堆朱」、黒色のものを「堆黒」といいます。複数の色漆を塗り重ね、彫る深さを変えることで様々な色を出す技法を「彫彩漆」と呼び、なかでも花を赤色に、葉を緑色に彫り表わすものを「紅花緑葉」と称します。

日本の伝統的な漆器には見られない珍しい技法で製作された彫漆器は、大変重宝されました。



1. 楼閣山水人物図堆朱卓 明時代



2. 屈輪文堆黒平卓 元時代



3. 花唐草文紅花緑葉六角皿
明時代 個人蔵

ら でん II. 螺鈿

夜光貝や鮑貝などの貝片で器物を装飾する技法で、貝殻の真珠層が虹色に美しく輝きます。

本章では、明・清時代の螺鈿をご紹介します。明時代の螺鈿は小さな貝片を緻密に組み合わせ、時には文様を切り透かして精巧な図様を表します。清時代になると、貝片は紙よりも薄いと称されるほどになり、青く光る貝と、金貝と呼ばれる金の薄板を交えた新たな技法が登場し、より写実的な表現が可能になりました。



4. 楼閣人物図螺鈿輪花盆 明時代



5. 周茂淑図螺鈿香合 清時代



6. 花卉文螺鈿瓢形振出 明時代

III. 無文漆器

装飾が施されていない、漆が塗られただけの漆器です。古代より存在する至ってシンプルな技法ですが、加飾をしない分、形そのものの美しさが際立ちます。

緊張感のある薄造りの黒漆塗り天目台には、桃山時代に「七つ台」「尼崎台」と称された一群があり、名物道具として扱われました。稜花形^{りょうかがた}の盆は、日本の茶の湯において菓子皿等に見立てられました。



7. 朱漆黄蜀葵形盆 明時代



8. 黒漆稜花盆
元時代



9. 黒漆天目台 南宋時代

IV. 存星

日本において室町時代以降、「存星」と呼ばれた一群の中国漆器がありますが、その定義は複数あります。現在では、主に漆を塗った地に文様を浅く彫り込み、そこに色漆を埋める填漆^{てんしつ}の技法と、輪郭線に沈金を併用したものを指します。

本章では、製作年が記され、龍の文様が施された存星を中心に集めました。年代順に並べ時代ごとの特徴や変遷をたどることで、香雪美術館所蔵品の位置づけを試みます。



10. 龍文存星稜花盆 清時代



11. 龍文存星大合子 明時代 万暦47年(1619) 個人蔵

はく え がん こつ
V. 箔絵・嵌骨

中国漆器の技法は極めて多様です。本章では、「箔絵」と「嵌骨」に焦点を当てます。箔絵は、漆で描いた文様が乾かないうちに上から金箔を貼る技法です。動物の骨を象嵌した嵌骨は、清時代に一時流行しますが、その成立や展開など未解明な部分が多く残ります。貴石や象牙など、様々な素材を文様に嵌め込む「百宝嵌^{ひゃっぼうがん}」という技法が明時代後期より流行したことから、その延長線上にある技法と推測されます。



12. 寿老図嵌骨小卓 清時代



13. 柘榴図箔絵輪花盆 明時代

きん ま あまかわ こ ま
VI. 蒟醬・天川・独楽

本章で紹介する漆器は、中国の南方からタイやミャンマー、ベトナム、ラオス、カンボジアなどの東南アジアや、周辺の南アジアにまで及ぶ地域で製作されたと考えられています。独特の名称がつけられたこれらの漆器は、江戸時代の茶会記に煙草盆や香合として度々登場しています。いずれも、南国ならではの異国情緒あふれる独特の雰囲気を持ちます。



14. 走獸文蒟醬煙草盆



15. 天川煙草入



16. 独楽平宝珠香合

作品画像貸出一覧



- ろうかくさんすいじんぶつ ず ついしゅじょく
1. 楼閣山水人物図堆朱卓 明時代
- ぐ り もんついこくひらじょく
2. 屈輪文堆黒平卓 元時代
- はなからくさもんこう かりよくろうつかくざら
3. 花唐草文紅花緑葉六角皿 明時代 個人蔵
- ろうかくじんぶつ ず ら でんりん か ぼん
4. 楼閣人物図螺鈿輪花盆 明時代
- しゅうもしゅくず ら でんこうごう
5. 周茂淑図螺鈿香合 清時代
- か き もん ら でんひさごがたふりだし
6. 花卉文螺鈿瓢形振出 明時代
- しゅうるしおうしよつき がたぼん
7. 朱漆黄蜀葵形盆 明時代
- くろうるしりょう か ぼん
8. 黒漆稜花盆 元時代
- くろうるしてんもくだい
9. 黒漆天目台 南宋時代
- りゅうもんぞんせいりょうか ぼん
10. 龍文存星稜花盆 清時代
- りゅうもんぞんせいだいごう す
11. 龍文存星大合子 明時代 万暦47年(1619) 個人蔵
- じゅうろう ず がんこつしょうじょく
12. 寿老図嵌骨小卓 清時代
- ざくろ ず はく え りん か ぼん
13. 柘榴図箔絵輪花盆 明時代
- そうじゅうもんきん ま たばこ ぼん
14. 走獸文蒟醬煙草盆
- あまかわ たばこ いれ
15. 天川煙草入
- こ ま ひらほうじゅ こうごう
16. 独楽平宝珠香合

開催概要

会 期	2021 年 12 月 11 日（土）～ 2022 年 2 月 23 日（水・祝）
休 館 日	月曜日（祝日の場合は翌火曜日）、2021年12月27日（月）～2022年1月7日（金）
開館時間	10 時～17 時（入館は 16 時 30 分まで）
夜間特別開館	2021 年 12 月 23 日（木）、2022 年 1 月 20 日（木）、2 月 17 日（木） 10 時～19 時 30 分（入館は 19 時まで）
料 金	一般 900（700）円、高大生 500（350）円、小中生 300（150）円 *（ ）内は前売り（一般のみ）、20 名以上の団体料金 *前売り券は香雪美術館（御影本館）、中之島香雪美術館、 フェスティバルホール・チケットセンターで販売しています
主 催	公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社
会 場	中之島香雪美術館 530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4 階 TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/ Twitter@kosetsu_museum
アクセス	Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」駅 4 号出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅 12 号出口直結 Osaka Metro 御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅 7 号出口より徒歩約 8 分 JR「大阪」駅桜橋口より徒歩約 15 分 JR 東西線「北新地」駅 11-5 出口より徒歩約 8 分
講 演 会	「茶の湯に取り上げられた唐物漆器」 こ い け と み お 講師：小池 富雄さん（静嘉堂文庫美術館 学芸部長）
【日 時】	2022 年 2 月 5 日（土） 14 時～15 時 30 分（受付開始 13 時 30 分）
【会 場】	中之島会館（中之島香雪美術館隣）
【参 加 料】	500 円（展覧会観覧ご希望の方は、別途入館券をご購入ください）
【定 員】	120 名（予定）
【応募開始】	12 月 18 日（土）
【応募方法】	1 通で 2 名様まで応募可能。参加人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記ください。
メール	以下アドレス宛にお申し込みください。詳細を返信します。 E-mail：n-kouenkai@kosetsu-museum.or.jp（※左記アドレスを受信可能に設定してください）
往復ハガキ	返信ハガキの宛先には、代表者の住所氏名をご記入ください。返信ハガキで参加証を郵送します。 【宛先】〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4 階 中之島香雪美術館「中国の漆器」展 講演会係

FAX: 06-6210-4190

取材・写真使用申込書

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

(西暦) 年 月 日

取材について

取 材 者	フリガナ	フリガナ
	会社名	担当者名(連絡者)
	住所 〒	TEL
		FAX
	E-mail	取材人数 名
取材希望日時	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
媒 体	種別 ☐ テレビ ☐ ラジオ ☐ 新聞 ☐ 雑誌 ☐ その他()	
	番組名・コーナー名	
放送・発行日等	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
取材の範囲	撮影 ☐ する (撮影機材 ☐ スチール ☐ ENG ☐ DVC) ☐ しない	
備 考	特に取材したい場所・内容等	

写真使用について

プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作 品 画 像	中之島香雪美術館 館 内 画 像
---------	---------------------

注 意 事 項

- ・企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に中之島香雪美術館広報担当宛に確認のためお送りくださいますようお願いいたします。
- ・掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。
- ・画像の名称(作品名)、指定、展示期間、所蔵元、クレジット(ある場合)を記載してください。
- ・サイズは、(web掲載用)長辺1000px 100dpi (紙媒体用)長辺1000px 300dpi まで。
- ・ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長6ヶ月とし、その後は削除をお願いします。それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。

報道関係のお問い合わせ

「中之島香雪美術館」 広報担当
TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4階